

都立高等学校について

東京都が設置する高等学校

受検資格は来年4月以降都内に在住している生徒。

他道府県へ引っ越しが決まっている場合は
引っ越し先の道府県の公立高校を受検する。

都立高校の学科

- **普通科**

- **専門学科**

…農業、工業、商業、家庭、福祉、芸術、体育、国際、
産業、科学技術、ビジネスコミュニケーション

※昨年度より、「**工業**高等学校」は「**工科**高等学校」に名称変更

- **総合学科** 10校

…普通科目から専門科目まで選んで学べる

都立高校入試の変化

- ① **すべての**都立高校の**推薦入試**および**一次・前期入試**で**インターネット**による**出願**を行っています。

都立高校入試の変化

②男女別定員制が廃止され合同選抜となっています。

→詳細及び今年度変更点は、10月の第2回進路説明会で説明します。

特徴的な指導を行う都立高校

大学等への進学指導に力を入れている高校

- **進学指導重点校** : 日比谷、戸山など7校
- **進学指導特別推進校** : 新宿、小山台、駒場など7校
- **進学指導推進校** : 武蔵野北、北園など15校

特徴的な指導を行う都立高校

- **科学技術高校**

- ：科学技術、多摩科学技術

- 先端的な科学技術を学び、理工系や薬学系の大学への進学を目指す専門高校

- **チャレンジスクール**

- ：稔ヶ丘、桐ヶ丘など6校

- 不登校経験や高校での中途退学の生徒を主に受け入れる高校

特徴的な指導を行う都立高校

- **エンカレッジスクール**

- ：練馬工科、中野工科など6校

- やる気や頑張りを応援し、基礎から学びなおしができる

- **昼夜間定時制**

- ：荻窪、新宿山吹など6校

- 午前部、午後部、夜間部の三部制。様々な進路希望に対応。

都立**推薦**入試

(推薦に基づく入試)

都立推薦入試の概要①

- **一般推薦**

- …個人面接、小論文・作文、集団討論など

- **文化・スポーツ等特別推薦**

- …自校の教育活動の特色に合わせて募集される。

- 種目や検査内容も学校による。

- ※同じ学校の**一般推薦**にも出願することができる。

- その場合、**受検料は2倍。**

都立推薦入試の概要②

- **理数等特別推薦**

- …理数系分野の素養を前提として、課題を解決する能力を評価する

※一般推薦や文化・スポーツ等特別推薦には
出願できない

都立推薦入試の概要③

- 面接の他に作文・小論文がある。
- 推薦は第一志望のみ。合格したら必ず入学する。
- 倍率は非常に高い（全日制普通科で2.87倍）。
- 合否結果がわかってから学力検査（一次・分割前期）出願までの期間が短い。

都立推薦入試の概要④

- 調査書点に余裕がないと厳しい
- 昨年度は集団討論を再開する学校がありました。

都立一般入試

(学力検査に基づく入試)

第一次・分割前期募集…2月21日

分割後期・第二次募集…3月11日

→あれば。別日程の学校もあり。

都立一般入試の概要①

- 原則、全日制は5科、定時制は3科の学力検査
- 学力検査を実施しない教科の評定を2倍にして調査書点を算出
- 学力検査・調査書に加え、実技検査や面接・パーソナルプレゼンテーションなどを実施する学校もある。

都立一般入試の概要②

学力検査の得点と調査書点の合計（1,000点満点）に英語スピーキングテストの点数を加えて、総合得点を算出する。

学力検査の得点

500点満点
(100点×5教科)

7 : 3

調査書点

65点満点
(5教科×5) + (4教科×5×2)

700点
(換算後)

+

300点
(換算後)

+

20点

= 1,020点満点

都立一般入試の概要③

- 英語スピーキングテスト (ESAT-J)

6段階の評価

(2) 評価の点数化

都立高等学校では、AからFまでの6段階で提出された評価を、20点満点(※)の点数として取り扱う。

※ 正式決定は、「令和5年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱」に定める予定

A	20点
B	16点
C	12点
D	8点
E	4点
F	0点

→詳しくは後ほど

都立一般入試の概要④

学校によって多様な選抜方法がある

自校で作成する学校

進学指導重点校など

…自校で作成した問題と共通問題の併用

共通問題での学力検査を行う学校

学力検査を実施しない学校

エンカレッジスクール・チャレンジ枠

…面接・小論文または作文・実技

チャレンジスクール

…面接・作文

近年の入試傾向①（都立一般）

- 昨年度は全日制合計で **1.38倍**
令和元年度～令和6年度 1.40倍～1.38倍



全体としては倍率の下降傾向が続いているが、引き続き高倍率の高校もある。

近年の入試傾向②（都立一般）

- 大学進学指導など特色ある取り組みをしている高校は高倍率。

（進学指導重点校、進学指導特別推進校、進学指導推進校）

- 近隣では武蔵丘、鷺宮、石神井、豊島、井草などの人気が高い。西中からも近隣の大泉桜、石神井、保谷、武蔵丘などへの受検者が多い。

私立高等学校について

私立高校

独自の特色ある教育を行いたいという
考えに基づき、民間で運営される。

私立推薦入試

私立**推薦**入試の概要

- ・ 試験は学力検査ではなく、**面接・作文など**
- ・ **評定の基準あり**…高校によって様々

例 A高校 3科10, 5科17, 9科29

B高校 5科15かつ9科29

※かつ (and) もしくは(or)

C高校 5科16 (5科に2は不可)

私立**推薦**入試の概要

第一志望・併願優遇ともに

生徒・保護者が事前の学校説明会・個別相談等に
参加して基準の確認をする。

(早めの)予約が必要な場合がある。各校のHP等で確認を

→三者面談を経て、**教員**が12月に入試相談（高校側との確認）を行う。

併願優遇とは…

第一希望の学校に不合格の場合はその学校に入学することを約束し、評定などの基準を満たせば一般入試で優遇を受けられる制度。試験は**学力検査**。

公立高だけでなく、私立高を第一希望とすることができ学校も増えている。

併願優遇とは…

第一希望

都立A高校

推薦入試で不合格

一次・前期入試で不合格

私立C高校

一般入試で不合格

第二希望

私立B高校

併願優遇で合格

私立D高校

併願優遇で合格

→私立B高校に入学

→私立D高校に入学

私立一般入試

私立一般入試の概要

- 3教科入試がほとんど。5科の学校もあり。
- **学力試験の結果**が重視されるが、学校により併願優遇制度あり。
- 複数校受験も可。ただし**無理のない範囲**で。

近年の入試傾向（私立）

- 学校によって入試制度もコースも様々。
 - 共学化や進学・特進コースの設置などにより前年度と大きく異なる学校もある。
- ➡ 情報をこまめにチェックする必要がある。
興味のある（受きたい、受けるかも）高校は必ず学校説明会(事前相談)に参加する。

近年の入試傾向(私立)

- 西中からは豊島学院、豊南などの併願優遇受験者が多い。評定基準のクリアが必要。
- 検定(英検、漢検、数検等は高校により加点)や皆勤、生徒会活動、部活動等で優遇される場合がある

入試に向けての準備（特に推薦・併願優遇）

- ・ 評定は急には上がらない
 - 普段の予習、復習を大切に
- ・ 記述式の問題が増えている
 - 日頃から、文章を書く習慣を
- ・ 面接・集団討論
 - 学校や家庭で話し合う機会をもつ
 - ニュースなど時事問題に関心をもつ

大泉西中学校の推薦基準

- 1 希望する学校へ入学したいという強い意志をもち、入学後の目標がはっきりしている生徒
- 2 推薦を受けて出願した場合、必ず受験（検）し、合格したら必ず進学する生徒
- 3 校内および校外における決まりやマナーを守り、意欲的に学校生活を送っている生徒

大泉西中学校の推薦基準

- 4 希望する学校が設定している推薦基準（都立高校の「本校の期待する生徒の姿」や私立高校の提示した推薦基準）を満たしている生徒
- 5 推薦受験（検）を希望する学校の説明会や個別相談会などに参加している生徒
- 6 校長が上記の1～5の各項目の状況を基に推薦に値すると判断する生徒

自分自身の進路を決めるには

- 毎時間を大切にした授業態度
- 規則正しい学校生活(十分な睡眠とスマホやゲームをやりすぎない生活が大切)
- 計画的な家庭学習
- 進路情報や資料の収集
- 保護者や先生との相談
- 自分を伸ばせる進路選択

進路に向けた家庭での取組

- 本人の適性を確認、本人の希望を尊重
- 規則正しい生活
- 十分な睡眠とバランスのよい食事
- 安らぎのある家庭環境
- スマホやゲームをやり過ぎない生活



保護者と生徒とが話し合い、納得のいく進路選択を

進路選択は・・・

人間的に大きく成長できるよい機会

➡ 夢の実現に向けて頑張りましょう!